

射水市立東明小学校活動報告

◆活動取組の紹介

・「学校ボランティアの方への感謝の手紙」

(6月～7月7日)

参加人数 全校児童 273名

登下校の見守りや、クラブ、読み聞かせ等でお世話になっている地域のボランティアの方々に、全校の子供たちで感謝の気持ちを伝えようと手紙を書いて渡した。手紙を書くことが困難な低学年はボランティア委員が作った塗り絵、3年生以上は関わりの深い相手に向けての感謝を手紙で伝えた。



▲パトロール隊への手紙

・「福祉プラザ七美とのリモート交流」(7月14日、12月8日)

参加人数 ボランティア委員 10名

校区内にある老人保健施設の方と、リモートで交流をした。子供たちは、1回目の交流でお年寄りの方が楽しそうに一緒に活動してくださる姿を見て、更に楽しんでもらえる活動にしようと意欲的に取り組んだ。そして、2回目の交流では、相手にもジェスチャーゲームのお題を出してもらうなど、リモートであることを互いに忘れてしまうような楽しい時間を過ごすことができた。



▲お年寄りとの交流

・「アルミ缶、キャップ、ベルマーク集め」(毎月15日)

参加人数 ボランティア委員 10名

アルミ缶は、校区内にある障害者支援施設いみず苑の作業用に回収するほか、ペットボトルキャップやベルマークの回収を行っている。放送で呼び掛けることで、全校の子供たちのエコへの意識が高まってきた。



▲収集活動を行う子供たち

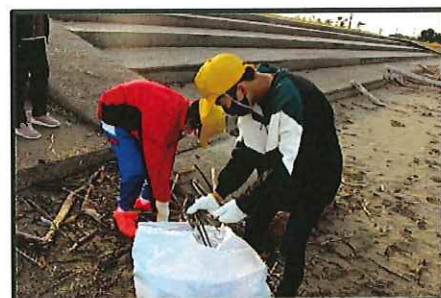
◆活動していてやりがいや喜びを感じる時

「海老江海岸清掃」(11月24日)

ボランティア委員会が企画し、校区内の家族でよく出かける海岸をきれいにしようとごみ拾いに出かけた。流木の他たくさんのプラスチックごみが砂地に打ち上げられていた。夏休みや休日にバーベキューや釣りで出たと思われるごみもたくさんあった。

・「釣りの餌が入っていた袋が風で飛んだことがあります。これからは気を付けようと思いました。」(6年男子)

・「休日に家族でボランティアの海岸清掃に出かけました。お母さんも、こんなにごみが多いから砂場に咲く花がごみをよけながら咲いていて、かわいそうだと言っていました。身近なところにも環境破壊があることが分かったので、自分でも気を付けることで、自然を守っていきたいと思います。」(5年女子)



▲海岸のごみを拾う子供

◆最後にひとこと

学校ボランティアの方への感謝の手紙では、これまでの学習活動等を振り返る機会を得て、改めて感謝の気持ちをもつことができた。また、老人福祉施設のお年寄りとの交流から、普段関わることのできないお年寄りとの交流から、相手意識をもって行動することの難しさと達成感を感じることもできた。海岸清掃では、身近な環境を守る大切さを感じることもできた。

収集活動については、子供たちの主体的な活動となることを目指し、子供たち自身がポスター作りや放送等で活動の趣旨を説明するなど目的意識をもって活動できるように指導に当たりたい。